

平成28年度 橋梁点検結果一覧表(その1)

番号	橋梁番号	橋梁名	損傷状況※1												健全性の診断 (判定区分)	備考		
			床版	主桁(主構)	主桁以外	下部工	支承	落橋防止	防護柵	地覆	舗装	伸縮装置	照明	排水施設			その他	
1	1140020	長登路橋	8-B							7-A	15-B						I	
2	570031	無名3号橋(道路)		7-C1													II	拡幅部との打継部
3	570032	無名3号橋(歩道)						24-C1,1,5-B		2-A	5-A						II	支承部土砂堆積
4	920040	無名4号橋								7-A	14-B						I	
5	3880050	無名5号橋							23-B	7-A							I	
6	60	上鎌田川橋				6-B			23-B	7-A							I	
7	120	無名12号橋	7-C1	1,5-C1							15-B			24-M			II	床版下面に鉄筋露出が散見
8	140	無名14号橋															I	点検後、補修工事実施済みを確認
9	160	無名16号橋		7-A							15-B						I	
10	170	無名17号橋		7-A					23-B	6,8-B							I	
11	180	無名18号橋												24-M			I	
12	4030190	無名19号橋		7-B													I	軽微な鉄筋露出が散見
13	3290200	間川一の橋	8-B						5-B								I	
14	220	無名22号橋							23-B	7-A	15-B			24-M			I	
15	3910230	無名23号橋							23-B	6-A				24-M			I	
16	260	無名26号橋							5-B	7-A							I	
17	290	鍛冶新居橋		6-C1										24-M			II	ASR等の材料劣化の疑いあり
18	300	飯喰橋	8-B	6-C1,7-A				24-M	23,5-B					24-M			II	ASR等の材料劣化の疑いあり
19	2810310	団地南橋	8-C1	7-A													II	間詰部からの遊離石灰
20	320	団地中央橋	8-C1						5-B	6-B,7-A							II	間詰部からの遊離石灰
21	250370380	無名37号橋		7-C1						7-A							II	拡幅部との打継部
22	920390	無名38号橋				7-A,6-B			5-B		15-B						I	
23	2520400	無名39号橋		7-C1						7-A							II	床版下面に鉄筋露出が散見
24	4460460	渋川二の橋		1-C1		8-B	5-B		1-A	1-C1	15-B						II	鋼部材の防食機能の劣化
25	1200470	無名46号橋		8-B		7-A											I	
26	530500	無名47号橋		8,23-B,6-A					1-A	6-A							I	
27	60070	無名50号橋		23-B		6-B			5-B	6-A							I	
28	499080	無名7号橋		6,8-B		6-B											I	
29	2040090	無名8号橋		23-B					5-B								I	
30	3710100	無名9号橋		6,23-B							14-A,24-M						I	
31	3710110	無名10号橋		6,7-A,8-B						23-M	14-M,15-B						I	
32	10980130	無名11号橋		6-A,8-B													I	
33	2440150	無名13号橋		8-B													I	
34	10060240	無名15号橋		7-A					3-M,5-B					24-M			I	
35	2810270	無名24号橋		7-B		7-A,23-B			3-M,5,23-B		15-B						I	
36	2670330	無名27号橋		23-B		6-B					14,15-B						I	
37	370340	無名33号橋		6-A,8-B		6-B			5,23-B	7-M,6-B							I	
38	2560420	無名34号橋		7-B													I	
39	2510430	無名42号橋		6-B		6-B			23-B		14-B						I	
40	2510440	無名43号橋		6-B,7-A													I	
41	2510440	無名44号橋									14-M						I	
42	140450	無名45号橋				6,823-B,7-A					14-M						I	
43	1100480	無名48号橋		8,23-B		6-B					15-B						I	
44	910490	無名49号橋		6-B													I	
45	1570510	無名51号橋		7-B		6-B,7-A											I	
46	1440520	無名52号橋		7-C1,23-B						7-B							III	主版下面の豆板部で鉄筋露出
47	530	無名53号橋		7,23-B													I	
48	260540	無名54号橋		7,23-B						23-A	15-B						I	
49	1580550	無名55号橋		7-A		6-B				6-B							I	
50	560	無名56号橋		7-B		6,8-B			23-M								I	

※1:表-1に記載の対策区分と表-2に記載の損傷の種類番号で表記。【例】5-C1は、『防食機能の劣化-予防保

表-1 対策区分の判定区分

対策区分	判定の内容
A	点検の結果から
B	状況に応じて補修
C1	予防保全の観点
C2	橋梁構造の安全
E1	橋梁構造の安全
E2	その他、緊急対応
M	維持工事に対応
S1	詳細調査を行う
S2	追跡調査の必要

表-2 損傷の種類

番号	損傷名	番号	損傷名
1	腐食	14	路面の凹凸
2	亀裂	15	舗装の異常
3	ゆるみ・脱落	16	支承の機能障害
4	破断	17	その他
5	防食機能の劣化	18	定着部の異常
6	ひびわれ	19	変色・劣化
7	剥離・鉄筋露出	20	漏水・滞水
8	漏水・遊離石灰	21	異常な音・振動
9	抜け落ち	22	異常なたわみ
10	コンクリート補強材の損傷	23	変形・欠損
11	床版ひびわれ	24	土砂詰り
12	うき	25	沈下・移動・傾斜
13	遊間異常	26	洗掘

・網:オレンジ色の網掛 コンクリート:灰色の網掛、共通:紫色の網掛、その他:網掛なしで示す。

表-3 判定区分(健全性の診断)

区分	定義
I	健全 道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。
III	早期措置段階 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

表-4 健全性の診断と対策区分との一般的な対応※2

区分	健全	対策区分
I	健全	A, B
II	予防保全段階	C1, M
III	早期措置段階	C2
IV	緊急措置段階	E1, E2

※2 健全性の診断と対策区分の判定は、あくまでそれぞれの定義に基づいて独立して行うことが原則であるが、一般的な対応を示している。

平成28年度 橋梁点検結果一覧表(その2)

番号	橋梁番号	橋梁名	損傷状況※1												健全性の診断 (判定区分)	備考		
			床版	主桁(主構)	主桁以外	下部工	支承	落橋防止	防護柵	地覆	舗装	伸縮装置	照明	排水施設			その他	
51	570	無名57号橋		8-B		6-B				7-A							I	
52	580	無名58号橋		7-A, 6,23-B		6,8-B											I	
53	1600590	無名59号橋		23-B		6-B											I	
54	1610600	無名60号橋				6-B					15-A						I	
55	610	無名61号橋		7-A, 8,23-B													I	
56	620	無名62号橋		8-B		6-B											I	
57	1620630	無名63号橋								7-B	15-C1						I	
58	920660	無名66号橋		7,23-C1, 8-B						23-M							II	主版下面の鉄筋露出、豆板、地覆欠損
59	670	無名67号橋		6-C1, 8-B													II	橋軸方向の貫通ひび割れ
60	680	無名68号橋								7-B							I	
61	2420690	無名69号橋		23-B, 7-A		6-B				23-M							I	
62	700	無名70号橋		23-B													I	
63	2500710	無名71号橋		7-A		6-B, 7-A											I	
64	2580720	無名72号橋		23-B, 7-A						23-M	14-M						I	
65	4330730	無名73号橋		8-B						7-A							I	
66	70770	無名77号橋		23-B		6-B											I	
67	140780	無名78号橋		23-B							14-M						I	
68	790	無名79号橋		8-B, 6-A													I	
69	800	無名80号橋		6-C1, 8-B		6-B											II	橋軸方向の貫通ひび割れ
70	10260810	無名81号橋		8-B		6-B					15-B						I	
71	11140820	無名82号橋		6-C1, 8-B													II	橋軸方向の貫通ひび割れ
72	11160830	無名83号橋															I	損傷なし
73	30840	無名84号橋		7,6,8-A		6-B, 7-A											I	
74	850	無名85号橋									15-B						I	
75	860	無名86号橋		8-B						1,5-M, 23-B							I	
76	870	無名87号橋				6-A				6-B, 7-A	15-B						I	
77		欠番															—	欠番
78	5180740	無名74号橋		23-B													I	
79	2940750	無名75号橋				7-A					14-M						I	
80	2730760	無名76号橋		23-C1, 7-B		7-A											II	頂版下面の広範囲な豆板
81	10250080	河西橋		7-B		8-B											I	
82	10250076	無名6号橋								6-B							I	

※1:表-1に記載の対策区分と表-2に記載の損傷の種類番号で表記。【例】5-C1は、『防食機能の劣化-予防保

表-1 対策区分の判定区分

対策区分	判定の内容	番号	損傷名	番号	損傷名
A	点検の結果から	1	腐食	14	路面の凹凸
B	状況に応じて補	2	亀裂	15	舗装の異常
C1	予防保全の観点	3	ゆるみ・脱落	16	支承の機能障害
C2	橋梁構造の安全	4	破断	17	その他
E1	橋梁構造の安全	5	防食機能の劣化	18	定着部の異常
E2	その他、緊急対	6	ひびわれ	19	変色・劣化
M	維持工事に対応	7	剥離・鉄筋露出	20	漏水・滞水
S1	詳細調査を行う	8	漏水・遊離石灰	21	異常な音・振動
S2	追跡調査の必要	9	抜け落ち	22	異常なたわみ
		10	コンクリート補強材の損傷	23	変形・欠損
		11	床版ひびわれ	24	土砂詰り
		12	うき	25	沈下・移動・傾斜
		13	遊間異常	26	洗掘

・銅:オレンジ色の網掛 コンクリート:灰色の網掛、共通、紫色の網掛、その他:網掛なしで示す。

表-3 判定区分(健全性の診断)

区分	定義
I	健全 道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。
III	早期措置段階 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

表-4 健全性の診断と対策区分との一般的な対応※2

区分	健全	対策区分
I	健全	A, B
II	予防保全段階	C1, M
III	早期措置段階	C2
IV	緊急措置段階	E1, E2

※2 健全性の診断と対策区分の判定は、あくまでそれぞれの定義に基づいて独立して行うことが原則であるが、一般的な対応を示している。